

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：農林水産業費 項：農業費 目：主要農作物対策費

事業名【新】水田農業経営推進事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部 農産園芸課 水田経営係 電話番号：058-272-1111(内4117)

E-mail：c11423@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 1,595 千円 (前年度予算額：0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	1,595	0	0	0	0	0	0	0	1,595
決定額	0	0	0	0	0	0	0	0	0

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

飼料用米の一般品種については、交付金の交付単価が、令和6年から令和8年まで段階的に引き下げられることから、農業者の交付金収入が減少する。

農家の収入維持に向けては、専用品種又は特認品種への切り替えが必要である。

(2) 事業内容

特認品種の申請を並びに現地における専用品種及び特認品種の作付拡大に取り組むため、下記の試験を実施し、栽培データの共有を図る。

【試験内容】

- ①多収品種の栽培試験による、新たな知事特認品種の検討
- ②特認品種の栽培拡大に向け、栽培適正を試験
- ③専用品種の栽培拡大に向け、栽培適正を試験

(3) 県負担・補助率の考え方
事務費等（県において費用を負担。）

(4) 類似事業の有無
なし

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	443	打合せ、会議出席のための出張旅費
需用費	459	消耗品費（会議資料、肥料、種子購入 等）燃料費（公用車）等
役員費	19	通信費、郵送費 等
使用料	674	会場使用料、高速代 等
合計	1,595	

決定額の考え方

既定経費で対応することとし、計上を見送ります。

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

ぎふ農業・農村基本計画

- 1 (2) ③水田農業における安定共有体制の構築と新たな展開
- 2 中山間地域を守り育てる対策

(2) 国・他県の状況

なし

事業評価調査書（県単独補助金除く）

■ 新規要求事業

□ 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
- ・新たに県特認品種への1品種申請を実施（令和7年度）。
- ・飼料用米（専用品種、特認品種）作付面積 1,150ha（令和7年度）

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R4)	R4年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標 (R7)	達成率
①県特認品種の新規申請（件）	—	—	—	—	1	
②飼料用米作付面積 (専用+特認) (ha)	993.6	993.6	1,000	1,000	1,150	86%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・取組内容と成果を記載してください。
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> ・取組内容と成果を記載してください。
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・取組内容と成果を記載してください。
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) <small>3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</small></p>	
(評価) 3	<p>交付金の交付単価が令和6年から8年まで段階的に引き下げられることから、交付金収入の維持のために早急に取り組む必要がある。</p>
<p>・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) <small>3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない</small></p>	
(評価)	/
<p>・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) <small>2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</small></p>	
(評価)	/

(今後の課題)

<p>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 需要に応じた米生産に向け、水田における作付転換を推進しているが、交付金単価が今後3年間段階的に引き下げられることから、水稻による作付転換の選択枝の確保とともに、栽培品種変更の検討が必要。</p>

(次年度の方向性)

<p>・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 近年は気象状況による収量及び品質低下も散見され、各地域における試験栽培により、栽培適正の確認並びに特認品種申請、栽培面積拡大に向けたデータ収集並びに栽培品種の変更を促す。</p>
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課</p>	【〇〇課】
<p>組み合わせる理由 や期待する効果 など</p>	